

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

公民館の有料化など

12月議会提案をやめよ!

日本共産党飯能市議団

終了しました。

市の計画には全くない



市は、来年4月から公民館を（仮称）地区行政センターへ移行することとあわせて公民館利用料を原則無料から有料化する説明会を行っています。

市は、総合振興計画や実施計画への位置づけがなく、今年9月議会前の議員全員協議会で初めて地区行政センター化について説明がありました。

しかし、この時も公民館使用料の有料化には一言も触れませんでした。日本共産党飯能市議団は、この問題を重視し、10月14日提出した来年年度予算重点要求に位置づけ、現在の

公民館を（仮称）地区行政センターの一部にしてしまうと公民館機能の後退を招くこと、そこへさらに有料化すればダブルパンチだと、有料化をしないよう強く求めています。これまで行政が進めてきた健康づくりや子育て支援、介護予防などを単に講座で終わらせることなくサークル化し、励まし合い、協力し合っすすめしているものも少なくありません。これらは地域の活性化にとっても重要な施策のほずです。各公民館での説明会には、多種多様なサークルで活動している方々が大量参加し、「有料化す



ればサークル離れにつながる」「地域の活性化に貢献していることを評価しないのか」「中高年の社会参加、外出支援につながっている」など、予定時間を超過してたくさんのお意見が出されています。

住民の理解のないままの議会提出やめよ

充分な議論もなしに、一通りの住民説明で市が予定している12月議会に提案して決めてしまおうというのはあまりにも乱暴で認められません。このような状況から、改めてここで沢辺市長に対して、12議会への提案をやめ、市民、議会の十分な議論を尽くすよう申し入れを行いました。

品目	採取地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)			
		ヨウ素	セシウム134	セシウム137	セシウム計
椎茸	平戸	検出せず	検出せず	検出せず	—
ヒラタケ	平戸	検出せず	検出せず	検出せず	—
白菜	下名栗	検出せず	検出せず	検出せず	—
京菜	下名栗	検出せず	検出せず	検出せず	—
長ネギ	白子	検出せず	検出せず	検出せず	—
大根	白子	検出せず	検出せず	検出せず	—
落花生	下川崎	検出せず	検出せず	検出せず	—
暫定規制値(野菜)		2,000			500

市内農産物の放射性物質検査結果をお知らせします

東電福島原発の事故に伴う放射性物質の農産物への影響が心配されています。この間、埼玉県が検体を抽出して実施してきましたが、県の調査には検体に限りがあること、また、お茶の調査で山間部で検出されたため、市独自の調査も行ないました。

調査結果は上表のとおりです。飯能市は引き続き県と連携し農産物への調査を行なうとしています。日本共産党は、新飯能でも、その都度市の公表したものをお知らせしていきます。

青空ともみじの集い

11月27日 (日) 午前11時～

飯能河原 会費：1000円

みんなで語り合しましょう。

日本共産党飯能市後援会

波紋

さいとう・たかをの「ゴロゴロ」で世界の穀物戦争のことを読んでいたことがありま

す。遺伝子組換えによる種子メジャーの穀物市場の独占です。劇画の世界のことかと思っていたら、野口勲さんの「タネが危ない」を読んだら、野口さんの野口さんには飯能の野口種苗研究所の代表です。この本を読むと穀物、根菜類のほとんどが種をとることのできないF1種であり、その種子の9割をモンサントなどの世界の種子メジャーが独占していることがわかります。そのF1の種子メジャーを相手に、種が採れる伝統野菜・固定種の値打ちを飯能から発信しているのが野口さんです。子孫を残せない野菜ばかり食べていたら人間も子孫を残せなくなるのではないかと？有機農家でもF1の種を使っている、種に目が向いていないと野口さん。TPPはアメリカが遺伝子組換えの経済圏をつくらうとしているのではないかと。種子から世界が見えてきます。

ようやく完成!

飯能河原のステージ広場と散策路

埼玉県が平成21年度から整備をすすめていた『水辺再生100プラン』の一つ、入間川(飯



ウグイを放流する子どもたち

能河原)のステージ広場と散策路がようやく完成しました。

10月29日、沢辺瀨吉市長、広畑義久副知事、県議、市議、各自治会長などが出席して完成披露会がステージ広場で行われました。

整備されたのは図書館がある左岸側に西川材を使用したウッドデッキのステージ広場と割岩橋に通じる散策路で総事業費は1億3400

万円。

オープニングは飯能吹奏楽研究会の演奏、主催者・地元市長挨拶、来賓祝辞、維持管理協定書の交換後、ステージの端にザクロの植樹、ウグイの放流などがありました。

近所の方は、「いつになるのか説明もなく、やっと完成した!という感じですよ。訪れる人が増えればいいのですが」と語っていました。

「生活祭・西川材フェア」13日市役所駐車場で開催

11月13日、市役所駐車場などで市内の商工・農・林業の生産、加工品の直売などを行う「はんのう生活祭・西川材フェア」が同時開催されます。当日は、福島県の農産物販売、川越卸売市場による実演販売(マグロの

解体販売など)や、野菜、果物など農産物、日用雑貨、木工製品などの販売、模擬店や西川材フェアでは、リニューアルした「夢馬」、森林文化都市コーナーでは、沼田市・鶴岡市の物産販売や木挽き実演、森のふるさと食堂などが行なわれます。この催しには、「西川材応急仮設住宅」も展示されるため、準備が進んでいます。また、当日は都市宣



西川材応急仮設住宅

言をしている群馬県沼田市、山形県鶴岡市との森林文化サミットも開催されパネルディスカッションや意見交換会も開催されます。

ステージ前で関係者や子ども達、ご近所の方などが、バケツに分けられたウグイを放

流し、参加者や近所の方には金木犀の植木がプレゼントされました。

メガソーラー・バイオガスを視察 議会経済建設委員会

経済建設委員会は、10月25、26日に行政視察を行い、滝沢修市議が委員の6名の市議とともに参加しました。

25日は再生可能エネルギーに取り組んでいる大阪堺市のメガソーラー発電を視察しました。

臨海部の産業廃棄物処分場に国の補助を受け関西電力が建設し堺市が進めている10メガワットの発電施設で、現在、市内3千軒分の需要を賄っています。また、小学校への太陽光発電システムの設置も進んでおり平成20年に4校から始めた設置は25年度には60校へ設置する予定で、2030年には10万世帯、全世帯の約1/3のまでの普及を目指すとしています。一般世帯の普及のため、市の補助金も1キロワットあたり7万円、限度額は28万円(飯能市は上限10



バイオガスステーション

万5千円)となっております、目指す意気込みを感じました。

ガスステーションも

26日に視察した神戸市東灘区では、下水道汚泥からバイオガスを発生させ自動車燃料や都市ガスへの注入も行っています。下水を処理する過程で沈殿する汚泥やバクテリアで生物処理されたものが汚泥として排出されます。ここでは処理場内にガス化する施設を持っています。メインはガス化のための大きなタンクが3

住民要求がかげ

原市場支部が市に要望

日本共産党原市場支部は1日、道路の改善や交通安全対策など26項目の要望書を市に提出し、道路課長や生活安全課長と懇談しました。

この要望書は、住民アンケートや地域の安全チェック活動などを通じてまとめたもので原市場地域の身近な要求ばかりです。

道路問題では、市道で拡幅できていない場所の自動車の待避所や



課長に要望する党支部

基、取出したメタンガスは精製されると天然ガスとほとんど変わりません。道に面した場所には天然ガスステーションがあり、1日に供給で

雨水対策、舗装の打ち換え、道路の凍結対策、歩道のない県道へのグリーンベルトの設置などについてです。

対応した道路課長は、「県道については県土整備事務所に伝えたい。市道については現地を調査して検討したい」と答えました。

交通対策関係では、信号機の設置や改善、カーブミラーの点検や追い越し禁止の表示などを要望。課長は「信号機などは警察に相談したい。カーブミラーについては、現地を確認し対処したい」と答えました。

この懇談には、党支部の5名とともに新井たくみ市議が参加しました。

きる量は市バス40台、乗用車700台分になるそうです。現在はプロパンガスを添加して都市ガスにも直に注入をしているということだ。